



2025年 3月 5日
第159号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 集情 宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



本部激励行動に行きました！



横浜地本は3月4日、JR 東労組中央本部の激励行動に行きました。参加者から職場において取り組んだ色紙などの檄を本部交渉団に手渡し、要求をかちとるため組織強化、拡大に向けた運動を進めてきたことを報告しました。

2025JR 総連春闘において、最先頭で会社経営陣と対峙する本部交渉団と、これまでの交渉における会社認識の特徴や、本部がこだわってきた議論ポイントなどを意見交換しました。

<参加者からの感想>

- ・所定昇給の係数4の実施について、会社認識が「慎重に考慮する」という回答は許せない！
- ・1回目交渉と2回目交渉の間隔が2日しかないのは、1回目交渉を受け、現場で議論した組合員の意見を受け入れるつもりはないという姿勢に感じる。
- ・2回目交渉を2期日に渡って、現場の声を押し込んだことは大きな成果だと感じる。現場から上げられた労働実感、生活実感がストレートに交渉の場に届くことは大事。
- ・「回答を受け止める」としながらも、「受け入れる」姿勢が見られない。
- ・会社は「なるべく早く回答したい」というが、要求に届かない回答を早く出されても納得できない。年間計画が1週間早く立てられたところで、ありがたみも何もない。
- ・新卒者の初任給調整も基準外賃金で、徐々になくなる性質のもの。処遇改善がない中堅以上の世代が不公平感を強く持っている。

**春闘を早期幕引きしたい会社の意図はいったい何だろう？
職場において堂々と賃上げを語り、要求満額をかちとろう！**